

厚生労働大臣 様

北海道公立大学法人 札幌医科大学  
理事長 今井 浩 三

札幌医科大学附属病院の業務に関する報告について  
標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	50 人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護婦及び准看護婦、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	229人	179人	408.0人	看護業務補助者	10人	診療工ックス線技師	0人
歯 科 医 師	9人	13人	22.0人	理 学 療 法 士	5人	臨 床 検 査 技 師	53人
薬 剤 師	27人	7人	34.0人	作 業 療 法 士	3人	床 衛 生 検 査 技 師	0人
保 健 婦	0人	0人	0.0人	視 能 訓 練 士	4人	検 査 そ の 他	0人
助 産 婦	28人	0.8人	28.8人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	3人
看 護 師	615人	63.8人	668.8人	臨 床 工 学 技 士	6人	医療社会事業従事者	3人
准 看 護 師	10人	2.3人	12.3人	栄 養 士	1人	そ の 他 技 術 員	27人
歯 科 衛 生 士	4人	0人	4.0人	歯 科 技 工 士	3人	事 務 職 員	66人
管 理 栄 養 士	4人	0人	4.0人	診 療 放 射 線 技 師	43人	そ の 他 職 員	22人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の数を含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下第2位を切り捨て、小数点以下第1位まで算出して記入すること それ以外の欄には、それぞれ員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者数と外来患者数

	歯科等以外	歯 科 等	合 計
一日当たり平均入院患者数	729.6 人	23.9 人	753.5 人
一日当たり平均外来患者数	1,804.2 人	86.5 人	1,890.7 人
一日当たり平均調剤数		1,236.0 剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延べ数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院および外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
・人工中耳	有・無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・無	人
・性腺機能不全の早期診断法	有・無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・無	人
・抗がん剤感受性試験	有・無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・無	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
・成長障害のDNA診断	有・無	人
・生体部分肺移植術	有・無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	6人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・無	人

高度先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・無	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人

高度先進医療の種類（歯科）	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・無	人
・顎顔面補綴	有・無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・無	人
・歯周組織再生誘導法	有・無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・無	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・無	人
・レーザー応用による齶蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・無	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・無	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・無	人
強度変調放射線治療	有・無	人
胎児心超音波検査	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・無	人
インプラント義歯	①有・無	16人
顎顔面補綴	有・無	人
人工中耳	有・無	人
歯周組織再生誘導法	有・無	人
抗がん剤感受性試験	有・無	人
腹腔鏡下肝切除術	有・無	人
生体部分肺移植術	有・無	人
活性化血小板の検出	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
・カフェイン併用化学療法	有・無	人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・無	人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・無	人
・腓腫瘍に対する腹腔鏡補助下腓切除術	有・無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
・頰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
・活性化血小板の検出	有・無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	人
超音波骨折治療法	有・無	人
眼底三次元画像解析	有・無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・無	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	77人	・モヤモヤ病（ウリ動脈輪閉塞症）	49人
・多発性硬化症	103人	・ウェゲナー肉芽種症	10人
・重症筋無力症	140人	・特発性拡張型（うっ血型）心筋症	37人
・全身性エリテマトーデス	172人	・多系統萎縮症	15人
・スモン	1人	・表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）	0人
・再生不良性貧血	23人	・膿疱性乾癬	3人
・サルコイドーシス	64人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・筋萎縮性側索硬化症	20人	・原発性胆汁性肝硬変	28人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	137人	・重症急性膵炎	4人
・特発性血小板減少性紫斑病	55人	・特発性大腿骨頭壊死症	52人
・結節性動脈周囲炎	18人	・混合性結合組織病	21人
・潰瘍性大腸炎	78人	・原発性免疫不全症候群	0人
・大動脈炎症候群	21人	・特発性間質性肺炎	13人
・ピュルガー病	16人	・網膜色素変性症	20人
・天疱瘡	10人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	31人	・原発性肺高血圧症	3人
・クローン病	25人	・神経線維種症	14人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	5人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・パーキンソン病関連疾患	79人	・特発性慢性肺血栓栓症（肺高血圧症）	0人
・アミロイドーシス	7人	・ライソゾーム病（ファブリー〔Fabry〕病）含む	1人
・後縦靭帯骨化症	77人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	1人		人

（注）「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1ヶ月に4～5回		
剖検の状況	剖検症例数	28例	剖検率 10.8%

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
がんの発生と進展におけるDNAメチル化およびヒストン修飾異常の役割	豊田 実	内科学第一講座	9,400,000	補委 文部科学省
低分子化合物を利用した癌に対する強化放射線治療の確立	安達 正晃	内科学第一講座	7,300,000	補委 文部科学省
肝癌に対するインターフェロン、抗オステオポンチン抗体、抗CD44抗体併用療法	小関 至	内科学第一講座	1,100,000	補委 文部科学省
骨髄間葉系幹細胞(MSC)を用いた炎症性腸疾患の治療法開発	後藤 啓	内科学第一講座	1,500,000	補委 文部科学省
進行肝癌に対するインターフェロン、抗FGFR-1ヒト抗体併用療法	佐々木 茂	内科学第一講座	1,600,000	補委 文部科学省
マイクロサテライト不安定性発癌における遺伝子非翻訳領域異常の役割の解明	山本 博幸	内科学第一講座	5,600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
生体分子修飾の異常を標的とした消化器癌の個別化治療	豊田 実	内科学第一講座	7,500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
エピジェネティクス調節機構を応用した新しい癌治療の開発	安達 正晃	内科学第一講座	1,800,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
クロマチン制御をターゲットにした炎症性腸疾患のエピジェネティック治療の開発	有村 佳昭	内科学第一講座	1,900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
強皮症における病因解明と根治的療法の開発	高橋 裕樹	内科学第一講座	500,000	補委 厚生労働省
がんの早期診断及び予後の予測を目指したヒト多段階発がん課程におけるDNAメチル化の変化に関する研究	豊田 実	内科学第一講座	1,400,000	補委 厚生労働省
がんの早期診断および予後診断に役立つ腫瘍マーカーの開発の研究	山本 博幸	内科学第一講座	1,200,000	補委 厚生労働省
有糸分裂チェックポイント遺伝子CHFRのがん診断・治療への応用	豊田 実	内科学第一講座	1,300,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構
KMマウスを用いたアポトーシス誘導ヒト抗体の調整	石田 禎夫	内科学第一講座	12,000,000	補委 東北大学
消化器癌におけるRAS制御因子のエピジェネティックな異常の解析と臨床応用	豊田 実	内科学第一講座	2,000,000	補委 武田科学振興財団
マイクロRNAを標的とした新しい癌の診断、治療法の開発	豊田 実	内科学第一講座	1,000,000	補委 財団法人日本科学技術総合振興
虚血心筋におけるギャップ結合の機能ならびに蛋白発現を制御する細胞情報伝達機構	三浦 哲嗣	内科学第二講座	1,500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
NAD依存症ヒストン脱アセチル化酵素SIRT1の心筋細胞における役割	坂本 淳	内科学第二講座	2,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
疫病予防サービスに係るエビデンス構築のための大規模コホート共同研究	斉藤 重幸	内科学第二講座	5,500,000	補委 厚生労働省
急性循環器疾患の発症登録による発症病態分析と要因解明および治療効果の評価および活用に関する研究	斉藤 重幸	内科学第二講座	5,000,000	補委 厚生労働省

NIPPON DATA90の15年目の追跡調査による健康寿命およびADL, QOL低下に影響を与える要因の分析とNIPPON DATA80の19年追跡調査成績の分析	齊藤 重幸	内科学第二講座	1,500,000	補委	厚生労働省
原発性高脂血症に関する調査研究	島本 和明	内科学第二講座	900,000	補委	厚生労働省
喫煙と肥満症-分子医学から臨床疫学まで-, 喫煙習慣と肥満症(特に内臓肥満)の関連とそれらの動脈硬化進展に与える影響-地域疫学研究-	齋藤 重幸	内科学第二講座	1,000,000	補委	喫煙科学研究財団
日本人の心血管疾患発症における内臓脂肪蓄積型肥満の関与に関する疫学研究	齊藤 重幸	内科学第二講座	500,000	補委	健康管理事業団
北海道2地域における循環器疾患前向研究	島本 和明	内科学第二講座	2,000,000	補委	動脈硬化予防研究基金
肺サーファクタント蛋白質による自然免疫のメカニズム解析と喫煙による影響の検討	高橋 弘毅	内科学第三講座	2,000,000	補委	喫煙科学研究財団
慢性炎症および鉄過剰で誘導される肝発がん機構の解明とその防御	加藤 淳二	内科学第四講座	5,000,000	補委	文部科学省
ACFを標的とした大腸癌の化学予防	新津 洋司郎	内科学第四講座	16,300,000	補委	文部科学省
フィブロネクチン由来ペプチドを用いた急性骨髄性白血病の新しい分子標的治療の開発	松永 卓也	内科学第四講座	7,800,000	補委	文部科学省
ヒト骨髄間葉系幹細胞を用いた新しい肝臓再生法の開発	佐川 保	内科学第四講座	700,000	補委	文部科学省
構造生物学に基づいたGST- $\pi$ 阻害剤の開発とそれを用いた胆道・肺癌の分子標的治療	宮西 浩嗣	内科学第四講座	1,300,000	補委	文部科学省
TERT導入ストローマ/クローン細胞による効率的な造血幹細胞の体外増幅法の開発	河野 豊	内科学第四講座	2,200,000	補委	文部科学省
急性白血病の予後因子としてのVLA4の解析と同分子を標的とした新規治療法の開発	新津 洋司郎	内科学第四講座	15,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
C型肝炎の肝発癌過程における酸化的DNA損傷の網羅的解析	加藤 淳二	内科学第四講座	10,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
変異型p53のDNA結合ドメイン修飾剤による消化器癌の新規分子標的治療の開発	瀧本 理修	内科学第四講座	500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
潰瘍性大腸炎の病態におけるメモリーT細胞の意義についての解析	岡本 哲郎	内科学第四講座	2,800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
変異H-フェリチントランスジェニックマウスを用いた家庭性胃癌の発癌機序の解析	高山 哲治	内科学第四講座	2,500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
肝星細胞のコラーゲン特異シャペロンHSP47を標的とした新しい肝線維化抑制療法	佐藤 康史	内科学第四講座	2,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ヘッジホッグ高発現ヒト骨髄間質細胞を用いたCD34陰性幹細胞の体外増幅法の開発	小船 雅義	内科学第四講座	2,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
がん化学予防剤の開発に関する基礎及び臨床研究	高山 哲治	内科学第四講座	3,500,000	補委	厚生労働省
がん生物学に基づく新しい治療法に関する研究	松永 卓也	内科学第四講座	1,700,000	補委	厚生労働省
ヒト化抗VLA4抗体と抗癌剤の併用による急性白血病の根治療法	松永 卓也	内科学第四講座	53,000,000	補委	独立行政法人 医薬基盤研究所



Glutathione S-transferase-pi▼(GSTPI-1)を標的とした消化器癌の化学予防	宮西 浩嗣	内科学第四講座	250,000	補委	日本癌病態治療研究会
肝星細胞のコラーゲン特異的分子シャペロンHSP47を標的とするsiRNAを用いた新しい肝繊維化抑制療法	佐藤 康史	内科学第四講座	2,000,000	補委	国際科学振興財団
RER陰性異型遺伝性非ポリポース大腸癌(HNPCC)におけるTGFβシグナル伝達異常の解析	高田 弘一	内科学第四講座	500,000	補委	国際科学振興財団
同所性移植モデルにおける胆嚢癌の転移/進展機序解析とその臨床応用	木村 康利	外科学第一講座	1,800,000	補委	文部科学省
重症感染症に伴う非閉塞性胆汁うっ滞発生機構の解析と肝不全治療に向けての研究	平田 公一	外科学第一講座	3,500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
単核球に発現するRANTES受容体を標的とした消化機癌転移抑制に関する研究	古畑 智久	外科学第一講座	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
Osteopontin阻害による消化機癌転移抑制への新しいアプローチ	秦 史壮	外科学第一講座	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
乳癌女性のサポートニーズに基づいた乳癌ケアチームモデルの開発	大村 東生	外科学第一講座	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
新しい線維化抑制剤発見による肝硬変および慢性肺炎の線維化抑制療法の開発	桂巻 正	外科学第一講座	1,900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
同所性移植胃癌転移モデルによるリンパ節転移機構の解明と転移阻害への応用	山口 浩司	外科学第一講座	1,600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
進行・再発肝癌に対するTS-1+オーアイエフ療法	平田 公一	外科学第一講座	2,000,000	補委	東京大学
新規抗原を用いた高悪性度軟部肉腫に対する免疫治療の樹立	川口 哲	整形外科科学講座	3,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準的治療の確立に関する研究	和田 卓郎	整形外科科学講座	600,000	補委	厚生労働省
心肺停止・蘇生後脳症におけるアポトーシス検出画像の開発	寶金 清博	脳神経外科学講座	1,300,000	補委	文部科学省
遺伝子組換え骨髄幹細胞の静脈内移植による脳梗塞治療の基礎的研究	本望 修	脳神経外科学講座	3,500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
骨髄幹細胞の末梢血中への導引による脊髄損傷治療効果の基礎的解析	野中 雅	脳神経外科学講座	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
未破裂脳動脈瘤の要因、治療法選択におけるリスク・コミュニケーションに関する研究	宝金 清博	脳神経外科学講座	10,000,000	補委	厚生労働省
ウイルス動脈輪閉塞症における病態・治療に関する研究	宝金 清博	脳神経外科学講座	1,100,000	補委	厚生労働省
骨髄細胞を用いた神経再生医療に向けた実用化研究開発	本望 修	脳神経外科学講座	5,000,000	補委	独立行政法人 科学技術振興機構
抗prp抗体を用いたプリオン病の血液高精度検査と治療技術の確立	本望 修	脳神経外科学講座	1,442,000	補委	財団法人 日本科学技術総合振興
癌特異蛋白質BCLPによる子宮頸部腺癌のスクリーニングと予後判定への応用	鈴木 孝浩	産婦人科学講座	1,400,000	補委	文部科学省
卵巣明細胞腺癌の予後改善を目指したプロテオミクス解析を用いた検討	石岡 伸一	産婦人科学講座	1,500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会

コネキシ遺伝子の癌抑制機能の網羅的解析; 癌予防および治療への応用	斉藤 豪	産婦人科学講座	1,400,000	補委	厚生労働省
血清プロテオミクス解析によるGVHDの早期診断法の確立	堀 司	小児科学講座	2,100,000	補委	文部科学省
RSウイルスの遺伝子型が、RSウイルス下気道炎後の気管支喘息発症に与える影響	堤 裕幸	小児科学講座	1,800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
RSウイルス感染に対するToll-like receptorの感染防御機構の解析	永井 和重	小児科学講座	1,500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
水痘、流行性耳下腺炎、肺炎球菌による肺炎等による肺炎等の今後の感染症対策に必要な予防接種に関する研究	堤 裕幸	小児科学講座	1,300,000	補委	厚生労働省
開発途上国におけるEPIと母子保健プログラムとの連携	堤 裕幸	小児科学講座	2,200,000	補委	厚生労働省
ヘルペスウイルス感染症の血清疫学調査と臨床解析	堤 裕幸	小児科学講座	1,500,000	補委	厚生労働省
小児の肥満、糖尿病におけるPulse Wave VelocityとAnkle Brachial Indexの研究	鎌崎 穂高	小児科学講座	450,000	補委	森永奉仕会
増殖糖尿病網膜症の血管新生における転写因子の役割	三田村 佳典	眼科学講座	1,700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
メラニン合成蛋白質とRab71における細胞内輸送機構の解析	廣崎 邦紀	皮膚科学講座	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
酸性顆粒小胞輸送障害とメラノソーム色素・リソソーム多臓器異常	神保 孝一	皮膚科学講座	3,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
アデノウイルスベクターを用いた色素性乾皮症の相補群診断法の確立	山下 利春	皮膚科学講座	2,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
メラノマ標的ナノ微粒子(NPrCAP/ML)によるメラノーマ温熱免疫療法の開発	神保 孝一	皮膚科学講座	28,000,000	補委	厚生労働省
メラノマ標的ナノ微粒子(NPrCAP/ML)によるメラノーマ温熱免疫療法の開発	山下 利春	皮膚科学講座	3,400,000	補委	厚生労働省
悪性黒色腫瘍の新しい診断及び治療法の開発に関する研究	神保 孝一	皮膚科学講座	900,000	補委	厚生労働省
尿路上皮癌に対するサバイビン・ペプチドを用いた癌ワクチン療法の確立	塚本 泰司	泌尿器科学講座	7,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
自立神経再生機序の解明—海綿体神経機能再生の実験的検討—	伊藤 直樹	泌尿器科学講座	1,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
前立腺癌のアンドロゲン非依存症の機序の解明	舛森 直哉	泌尿器科学講座	800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
男性更年期障害の実態に関する臨床的研究	高橋 敦	泌尿器科学講座	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
浸潤性膀胱がんの予後改善をめざした集学的治療の研究	塚本 泰司	泌尿器科学講座	16,200,000	補委	厚生労働省
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	塚本 泰司	泌尿器科学講座	1,000,000	補委	厚生労働省
性感染症の効果的な蔓延防止に関する研究	塚本 泰司	泌尿器科学講座	850,000	補委	厚生労働省

湿潤性膀胱がんの予後改善をめざした集学的治療の研究	高橋 敦	泌尿器科学講座	350,000	補委	厚生労働省
希少悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	塚本 泰司	泌尿器科学講座	500,000	補委	厚生労働省
タッチパネル式モニタをワーキングメモリ特性評価システムの開発	島山 佳久	神経精神医学講座	900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
胎生・幼年期におけるアルコール・依存性薬物暴露と成長後の神経回路網の変異	斉藤 利和	神経精神医学講座	5,800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
胎生期・発達早期のエタノール暴露と認知行動異常に関する研究	池田 官司	神経精神医学講座	1,700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
神経新生と神経回路網からみたうつ病の発症と病態に関する研究	橋本 恵理	神経精神医学講座	1,700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
神経回路網の発達異常改善による新規統合失調症治療法の開発研究	鶴飼 涉	神経精神医学講座	1,700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
アルコール依存症・中毒精神病治療の開発・有効性評価・標準化に関する研究	斉藤 利和	神経精神医学講座	720,000	補委	厚生労働省
DNA2重鎖切断の修復の分子メカニズムを利用した放射線障害予測法の開発	大内 敦	放射線医学講座	1,400,000	補委	文部科学省
ステント/ステントグラフト治療の低侵襲性向上についての研究	兵頭 秀樹	放射線医学講座	600,000	補委	文部科学省
超音波と微小気泡エネルギーを用いた新しい抗癌戦略:抗腫瘍効果の分子基盤解析	小井戸 一光	放射線医学講座	4,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ヒストンアセチル化と放射線感受性とのクロストークの分子機構解析	晴山 雅人	放射線医学講座	4,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
DNA2重鎖切断修復に関わる蛋白質の機能検査法の臨床応用	坂田 耕一	放射線医学講座	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
先進的高精度三次元放射線治療による予後改善に関する研究	晴山 雅人	放射線医学講座	1,000,000	補委	厚生労働省
放射線治療期間の短縮に関する多施設共同臨床試験の確立に関する研究	晴山 雅人	放射線医学講座	1,000,000	補委	厚生労働省
虚血後リモデリング心臓の冠微小循環制御に対する麻酔薬の作用	金谷 憲明	麻酔学講座	1,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
癌性疼痛の機序解明と鎮痛戦略	並木 昭義	麻酔学講座	5,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
遺伝的背景による疼痛感受性の差異	川真田 樹人	麻酔学講座	9,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
慢性閉塞性肺疾患モデルを用いた吸入麻酔薬の気道平滑筋弛緩作用機序の解明	山蔭 道明	麻酔学講座	700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
骨癌性疼痛に対するオピオイド鎮痛抵抗性の機序解明	表 圭一	麻酔学講座	2,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
難治性がん性疼痛における多刺激痛み受容体の機能変化とそれに基づいた治療法の確立	川股 知之	麻酔学講座	2,500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
筋・筋膜性疼痛のメカニズムと鎮痛法に関する基礎的研究	川股 知之	麻酔学講座	1,000,000	補委	中富健康科学振興財団

抗アポトーシス分子に対する自己抗体を用いた新たな癌診断法の開発	小林 大介	臨床検査医学講座	2,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
PPAR $\gamma$ -ligandによるhTERTを標的とした新たな膀胱癌治療法の開発	渡辺 直樹	臨床検査医学講座	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
遺伝子発現の定量化における最適な内部標準遺伝子の選択と精度管理に関する研究	辻 直樹	臨床検査医学講座	300,000	補委	臨床検査精度管理奨励会
DNAメチル化を指標とした口腔癌の術前化学療法感受性に関する遺伝子診断法の開発	野口 誠	口腔外科学講座	1,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
口腔癌におけるエピジェネティックな以上の網羅的解析と分子標的治療への応用	荻 和弘	口腔外科学講座	1,100,000	補委	文部科学省
三次元マイクロCTによる顕微仮想化内視鏡を用いた細気管支肺胞内の探索システム	名取 博	機器診断学	1,600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
デジタル画像を利用した診断支援システムの開発と利用に関する研究	名取 博	機器診断学	1,200,000	補委	厚生労働省
MAGE-DI/Dixin-1の神経系における役割の解析	佐々木 文	病理診断学	1,900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ユーイング肉腫/PNETにおけるFISH解析によるEWSR1遺伝子変異の同定	長谷川 匡	病理診断学	1,900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
がん診断を標準化するための病理診断基準の確立に関する研究	長谷川 匡	病理診断学	5,632,000	補委	厚生労働省
半側空間無視におけるプリズム順応と注視パターン変化-改善機序とリハビリテーション-	石合 純夫	リハビリテーション医学	800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
神経筋伝達機能および筋弛緩薬の作用に敗血症病態が及ぼす影響の研究	成松 英智	救急集中治療医学	800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
メディカルコントロール体制の充実強化に関する研究	浅井 康文	救急集中治療医学	330,000	補委	厚生労働省
脱髄型ギランバレー症候群の髄液抗ヘリコバクターピロリVacA抗体と標的分子の解析	千葉 進	神経内科学	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
免疫性神経疾患に関する調査研究	千葉 進	神経内科学	800,000	補委	厚生労働省
ラットモデルを用いたpolycystic ovaryの病態研究	遠藤 俊明	産科周産期科学	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
前向きコホート研究による先天異常モニタリング、特に尿道下裂、停留精巣のリスク要因と内分泌かく乱物質に対する感受性の解明	遠藤 俊明	産科周産期科学	2,500,000	補委	厚生労働省

計 125件

(様式第11)

## 2 論文発表等の実績

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer Res 2006 May 1;66(9)	Comparative genome analysis identifies the vitamin D receptor gene as a direct target of p53-mediated transcriptional activation	豊田 実	第一内科
Cancer 2006 Apr 1;106(7)	Genetic, epigenetic, and clinicopathologic features of gastric carcinomas with the CpG island methylator phenotype and an association with Epstein-Barr virus	豊田 実	第一内科
Eur J Cancer 2006 Sep;42(14)	Overexpression of poly (ADP-ribose) polymerase-1 (PARP-1) in the early stage of colorectal carcinogenesis	山本 博幸	第一内科
Inflamma Bowel Dis 2006 Aug;12(8)	Antisense therapy of MAdCAM-1 for trinitrobenzenesulfonic acid-induced murine colitis	後藤 啓	第一内科
Eur J Cancer 2006 Nov;42(17)	Mutational analysis of beta-catenin and the RAS-RAF signaling pathway in early flat-type colorectal cancer	山本 博幸	第一内科
Cancer Cell 2006 Mar;9(3)	Global DNA demethylation in gastrointestinal cancer is age dependent and precedes genomic damage	鈴木 拓	第一内科
J Pathol 2006 Jul;209(3)	Therapeutic implications of the specific inhibition of causative matrix metalloproteinases in experimental colitis induced by dextran sulphate sodium	有村 佳昭	第一内科
Hypertens Res 2007 Jan;30(1):13-21	Noninvasive assessment of left atrial function by strain rate imaging in patients with hypertension: a possible beneficial effect of renin-angiotensin system inhibition on left atrial function	Kokubu N, Yuda S, et al	第二内科
J Biol Chem 2007 Mar 2;282(9):6823	Nucleocytoplasmic shuttling of the NAD <sup>+</sup> -dependent histone deacetylase SIRT1.	Tanno M, Sakamoto J, et al	第二内科
Hypertens Res 2007 Mar;30(3):229-36.	Relationship between visceral fat and cardiovascular disease risk factors: the Tanno and Sobetsu study.	Chiba Y, Saitoh S, et al	第二内科
Circ J. 2007 Jan;71(1):20-5	Impact of abnormal glucose tolerance, hypertension and other risk factors on coronary artery disease.	Nakamura Y, Saitoh S, et al	第二内科
Hypertens Res 2006 Dec;29(12):961-7	Effects of angiotensin II type 1 receptor gene polymorphisms on insulin resistance in a Japanese general population: the Tanno-Sobetsu study.	Akasaka H, et al	第二内科
Echocardiography 2006 Nov;23(10):846-52	Assessment of left ventricular ejection fraction using long-axis systolic function is independent of image quality: a study of tissue Doppler imaging and m-mode echocardiography.	Yuda S, Inaba Y, et al	第二内科
Hypertens Res 2006 Nov;29(11):865-74	Olmесartan is an angiotensin II receptor blocker with an inhibitory effect on angiotensin-converting enzyme.	Agata J, Ura N, et al	第二内科
Circ J 2006 Nov;70(11):1451-6	Persistent insulin-sensitizing effects of sarpogrelate hydrochloride, a serotonin 2A receptor antagonist, in patients with peripheral arterial disease.	Kokubu N, Tsuchihashi K, et al	第二内科
Basic Res Cardiol 2007 Mar;102(2):163-70	Impairment of cardioprotective PI3K-Akt signaling by post-infarct ventricular remodeling is compensated by an ERK-mediated pathway.	Miki T, Miura T, et al	第二内科
Circ J 2006 Sep;70(9):1128-32	Long-term outcome of implanted cardioverter defibrillators in survivors of out-of-hospital cardiac arrest of cardiac origin.	Nagahara D, Hase M, et al	第二内科
Diabetes Care 2006 May;29(5):1128-9	Incidence of type 2 diabetes in individuals with central obesity in a rural Japanese population: The Tanno and Sobetsu study.	Ohnishi H, Saitoh S, et al	第二内科

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
Basic Res Cardiol 2006 Sep;101(5):418-26	Activation of ERK and suppression of calcineurin are interacting mechanisms of cardioprotection afforded by delta-opioid receptor activation	Ikeda Y, Miura T, et al	第二内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol 2006 Aug;291(2):H748-5	Erythropoietin affords additional cardioprotection to preconditioned hearts by enhanced phosphorylation of glycogen synthase kinase-3 beta.	Nishihara M, Miura T, et al	第二内科
Cardiovasc Res 2006 May 1;70(2):374-8	MitoKATP channel activation suppresses gap junction permeability in the ischemic myocardium by an ERK-dependent mechanism.	Naitoh K, Ichikawa Y, et al	第二内科
J Pharmacol Exp Ther 2006 Apr;317(1):68-75	Alteration in erythropoietin-induced cardioprotective signaling by postinfarct ventricular remodeling.	Miki T, Miura T, et al	第二内科
Gut 2006 Mar;55(12):1801-1808	Hepatitis C virus core protein promotes proliferation of human hepatoma cells through enhancement of transforming growth factor $\alpha$ expression via activation of nuclear factor- $\kappa$ B	Sato Y, Kato J, Takimoto R, Takada K, Kawano Y, Miyanishi K, Kobune M, Sato Y, Tanaka M, Sagawa T, Kuribayashi K, Sumiyosi T, Kuribayashi K, Iyama S, Murase K, Fujimi A, Takimoto R, Kuribayashi K, Matsunaga T, Iyama S, Tanaka M, Sagawa T, Kuribayashi K, Sumiyosi T, Kuribayashi K, Iyama S, Murase K, Fujimi A, Takimoto R	第四内科
Intern Med 2006 May;45(7):475-478	Human herpesvirus-6 hepatitis associated with cyclosporine-A encephalitis after bone marrow transplantation for chronic myeloid leukemia	Kuribayashi K, Matsunaga T, Iyama S, Takada K, Sato T, Murase K, Fujimi A, Takimoto R	第四内科
Inflamm Bowel Dis 2006 Jul;12(7):630-640	Amelioration of murine dextran sulfate sodium-induced colitis by ex vivo extracellular superoxide dismutase gene transfer	Oku T, Iyama S, Sato T, Sato Y, Tanaka M, Sagawa T, Kuribayashi K, Sumiyosi T, Kuribayashi K, Iyama S, Murase K, Fujimi A, Takimoto R	第四内科
Stem Cells 2006 Sep;24(12):2877-2887	Ex vivo large-scale generation of human platelets from cord blood CD34+ cells	Matsunaga T, Tanaka I, Kobune M, Kawano Y, Tanaka M, Kuribayashi K, Iyama S, Murase K, Fujimi A, Takimoto R	第四内科
J Cell Biol 2007 Mar;176(7):1049-1060	Essential role of PKC $\zeta$ in transducing motility signal induced by superoxide and a chemotactic peptide fMLP	Kuribayashi K, Nakamura K, Tanaka M, Sato T, Kato J, Sasaki K, Takimoto R, Kuribayashi K, Matsunaga T, Iyama S, Tanaka M, Sagawa T, Kuribayashi K, Sumiyosi T, Kuribayashi K, Iyama S, Murase K, Fujimi A, Takimoto R	第四内科
神経治療学 23(5) 2006	筋萎縮性側索硬化症の緩和ケアにおける小径カフ無しカニューレを使用した経皮的気管切開術の有用性.	野中道夫	神経内科
Nature Neuroscience 投稿中	Nuclear translocation of NAD <sup>+</sup> -dependent histone deacetylase SIRT1 promotes neuronal differentiation	Shin Hisahara,	神経内科
Life Sci 2006 May 30;79(1)	Transport and toxic mechanism for aluminum citrate in human neuroblastoma SH-SY5Y cells.	Nagasawa K, Shun Shimohama, et al	神経内科
Dement Geriatr Cogn Dis 2006;22(3)	Variations in the BDNF gene in autopsy-confirmed Alzheimer's disease and dementia with Lewy bodies in Japan.	Akatsu H, Shun Shimohama, et al	神経内科
Neurosci Lett 2006 Jul 24;402(3)	Characterization of sequential N-cadherin cleavage by ADAM10 and PS1.	Uemura K, Shun Shimohama, et al	神経内科
Biochem Biophys Res C 2006 Jul 7;345(3)	Activity-dependent regulation of $\beta$ -catenin via $\epsilon$ -cleavage of N-cadherin.	Uemura K, Shun Shimohama, et al	神経内科
Neurobiol Dis 2006 Oct ;24(1)	PARK7 DJ-1 protects against degeneration of nigral dopaminergic neurons in Parkinson's disease rat model.	Inden M, Shun Shimohama, et al	神経内科
Neurosci Res 2006 Dec;56(4)	Developmental expression of neural Wiskott-Aldrich syndrome protein (N-WASP) and WASP family verprolin-homologous protein (WAVE)-related proteins in postnatal rat cerebral cortex and hippocampus	Tsuchiya D, Shun Shimohama, et al	神経内科
J Neurobiol 2007 Jul;67(8)	Reconstruction of dopaminergic neural network and locomotion function in planarian regenerates.	Nishimura K, Shun Shimohama, et al	神経内科
J Neurochem Jun;101(6)2007	Neurodegeneration of mouse nigrostriatal dopaminergic system induced by repeated oral administration of rotenone is prevented by 4-phenylbutyrate, a chemical chaperone	Inden M, Shun Shimohama, et al	神経内科

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
J Neurochem Sep;102(5)2007	Heat-shock protein 105 interacts with and suppresses aggregation of mutant Cu/Zn superoxide dismutase; clues to a possible strategy for treating ALS.	Yamashita H, Shun Shimohama, et al	神経内科
J Biol Chem 2007 Sep;102(5)	GSK3beta activity modifies the localization and function of presenilin1.	Uemura K, Shun Shimohama, et al	神経内科
Neuroscience 2007 Mar2;145(1)	Amyloid beta inhibits ectodomain shedding of N-cadherin via down regulation of cell-surface NMDA receptor.	Uemura K, Shun Shimohama, et al	神経内科
FEBS Lett 2007 Feb 28;557(2-3)	microglial transplantation increases amyloid-beta clearance in Alzheimer model rats.	Takata K, Shun Shimohama, et al	神経内科
Eur J Pharmacol 2007 Feb 16;282(7)	Novel neuroprotective mechanisms of pramipexole, an anti-Parkinson drug, against endogenous dopamine-mediated excitotoxicity.	Izumi Y, Shun Shimohama, et al	神経内科
J Biol Chem 2007 Feb 16;282(7)	Proteasome inhibition induces glutathione synthesis and protects cells from oxidative stress:	Yamamoto N, Shun Shimohama, et al	神経内科
Headache 2006 Nov-Dec;46(10)	Occipital neuralgia evoked by facial herpes zoster infection.	Kihara T, Shun Shimohama	神経内科
J Pharmacol Sci 2006 Nov ;102(3)	Morphological change by overexpression of D385A dominant negative presenilin 1 in human neuroblastoma SH-SY5Y cells.	Tsuchiya D, Shun Shimohama, et al	神経内科
J Neurol Res 2007 Jan;85(1)	Presenilin 1 is involved in the maturation of beta-site amyloid precursor protein-cleaving enzyme 1 (BACE1).	Kuzuya A, Shun Shimohama, et al	神経内科
Neurosci Lett 2006 Oct 16;407(1)	Improvement of focal ischemia-induced rat dopaminergic dysfunction by striatal transplantation of mouse embryonic stem cells.	Yanagisawa D, Shun Shimohama, et al	神経内科
Rinsho Shinkeigaku 2006 May;46(5)	Focal cortical dysplasia at the primary somatosensory cortex could manifest both intractable partial epilepsy and cortical reflex myoclonus.	Nagasawa K, Shun Shimohama, et al	神経内科
Intern Med 2006;45(3)	Gluten sensitivity in Japanese patients with adult-onset cerebellar ataxia.	Ihara M, Shun Shimohama, et al	神経内科
Intern Med 2006;45(3)	Clinical outcome of patients with SREDA (subclinical rhythmic EEG discharge of adults).	Begum T, Shun Shimohama, et al	神経内科
J Neurol Sci 2006 Aug 15;247(1)	Epileptic polioptia with right temporal lobe epilepsy as studied by FDG-PET and MRI: a case report.	Mitsueda-Ono T, Shun Shimohama, et al	神経内科
Epileptic Disord 2006 Mar;8(1)	Burst and slow complexes in nonconvulsive, epileptic status.	Ikeda A, Shun Shimohama, et al	神経内科
J Neurobiol Jul;67 2007	Reconstruction of dopaminergic neural network and locomotion function in planarian regenerates.	Nishimura K, Shun Shimohama	神経内科
J Hepatobiliary Pancreat Surg. 2007;14(1):98-113.	Unusual cases of acute cholecystitis and cholangitis: Tokyo Guidelines.	Hirata K	第一外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg. 2007;14(1):15-26.	Definitions, pathophysiology, and epidemiology of acute cholangitis and cholecystitis: Tokyo Guidelines.	Kimura Y	第一外科
Hepatogastroenterology 2006 Nov-Dec;53(72):924-7.	Analysis of the changes pattern of serum apolipoprotein A-1 after hepatectomy.	Mizuguchi T	第一外科

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
Eur Surg Res 2006;38(6):522-32	Portal blood flow regulates volume recovery of the rat liver after partial hepatectomy: molecular evaluation.	Nobuoka T	第一外科
World J Surg. 2006 Oct;30(10):1886-9	Assessment of nutritional status and prediction of postoperative liver function from serum apolipoprotein A-1 levels with hepatectomy.	Mizuguchi T	第一外科
World J Gastroenterol 2006 Jul 21;12(27):4325-30	Assessment of liver fibrosis by a noninvasive method of transient elastography and biochemical markers.	Mizuguchi T	第一外科
J Hepatobiliary Pancrea 2006;13(4):327-35.	Intraductal papillary mucinous neoplasms of the pancreas: an analysis of protein expression and clinical features.	Kimura Y	第一外科
Dig Surg 2006;23(1-2):115-8	In situ graft-trimming method using polyester vascular prosthesis for inferior vena cava reconstruction after hepatectomy	Mizuguchi T	第一外科
Liver Int 2006 Mar;26(2):203-10	Serum lipid and lipoprotein alterations represent recovery of liver function after hepatectomy.	Mizuguchi T	第一外科
J Exp Clin Cancer Res. 2006 Mar;25(1):79-82.	Plasma level of a 5-fluorouracil metabolite, fluoro-beta-alanine correlates with dihydropyrimidine dehydrogenase activity of peripheral blood mononuclear cells in 5-fluorouracil treated patients	Furuhata T	第一外科
Dig Surg 2007;24:137-147	Current Status of Surgery for Pancreatic Cancer.	Hirata K	第一外科
Eur J Cardiothorac Surg 2007;31(1)	How to clamp the main pulmonary artery during video-assisted thoracoscopic surgery lobectomy.	渡辺 敦	第二外科
Eur J Cardiothorac Surg. 2007 Feb;31(2)	Supradiaphragmatic thoracic duct clipping for chylothorax through left-sided video-assisted thoracoscopic surgery.	渡辺 敦	第二外科
日本心臓血管外科学会雑誌 2007.36巻3号	腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術後同部位に人工血管置換術を施行した2例	伊藤 寿朗	第二外科
Eur J Cardiothorac Surg. 2007 Jun;31(6)	Spinal cord ischemia after elective endovascular stent-graft repair of the thoracic aorta.	川原田 修義	第二外科
日本血管外科学会雑誌 2007.16巻4号	超高齢者(98歳)胸部大動脈瘤に対する血管内ステントグラフト内挿術の1治験	大澤 久慶	第二外科
日本血管内治療学会誌 2006;7	胸部真性大動脈瘤破裂症例に対する緊急ステントグラフト内挿術.	栗本 義彦	第二外科(救急部)
北海道整災外 2006, 47:27-30	当科の骨肉腫治療成績	加谷光規	整形外科
北海道整災外 2006.47:76-79	硬膜欠損に対し硬膜修復を行った脊髄ヘルニアの一例	岩瀬岳人	整形外科
北海道整災外 2006.48: 33-35	陳旧性母趾中足趾節関節内側側副靭帯損傷の一例	堀清成	整形外科
北海道整災外 2006.47: 58-61	人工膝関節周辺骨折に対する治療経験	岩瀬岳人	整形外科
北海道整災外 2006.47: 58-61	遊離大網移植術を用いて治療した下腿の難治性皮膚潰瘍の一例	北嶋久美子	整形外科



雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
北海道整災外 2006,48: 54-57	指尖部損傷に対する創傷被覆材(ソープサン、ハイドロサイト)を用いた保存療法の経験—本法よアルミホイル法との比較—	藤田珠美	整形外科
北海道整災外 2006,47: 31-39	吸収性生体材料を用い肩腱板組織再建の可能性:再生瘢痕組織の引っ張り特性と組織的变化	堀籠圭子	整形外科
北海道整災外 2006,48: 45-48	RA肘関節炎に対する鏡視下滑膜切除の経験	辻英樹	整形外科
日手会誌 2006,23: 75-78	手根管開放術前後における客観的知覚評価—Neurometerを用いた電流知覚閾値における検討—	大木豪介	整形外科
日足外会誌 2006,106-111	先天性足趾短縮症に対する中足骨延長術の成績	倉秀治	整形外科
日足外会誌 2006,37-40	距骨骨軟骨損傷に対する骨釘移植術後のMRI所見	寺本篤史	整形外科
肩関節 2006,30:303-306	腱板断裂に対する鏡視下腱板修復術の臨床成績	堀籠圭子	整形外科
日本骨・関節感染症学会誌 2006,20:62-66	Three-phase骨シンテグラフィーを用いた人工股関節感染症の診断	名越智	整形外科
J Bone Joint Surg 88-B 2006,554-557	Sympathetic afferent units from lumbar intervertebral disk	Takebayashi T	整形外科
J Bone Joint Surg 88-B 2006,394-395	Tuberculosis infection of the Hip following total hip arthroplasty in patient with no prior history of tuberculosis	Kaya M	整形外科
Jpn J Phy Fitness Sport 2006,207-216	Proprioceptors. Physiological and morphologic characteristics.	Yamashita T	整形外科
J Hand Surg 31-A 2006,553-558	Intraoperative measurement of pressure adjacent to the ulnar nerve in patients with cubital tunnel syndrome	Iba K	整形外科
J Orthop Res 24 2006,94-101	HLA-restricted specific tumor cytotoxicity by autologous T-lymphocytic infiltrating metastatic bone malignant fibrous histiocytoma of lymph node.	Tsukahara T	整形外科
J Histochem Cytochem 2006,933-944	Differential expression and subcellular localization of claudin-7, -8, -12, -13 and -15 along the mouse intestine	Fujita H	整形外科
Cancer Sci 97 2006,1374-1380	Prognostic significance of HLA class I expression in osteosarcoma defined by anti-pan HLA class I monoclonal antibody, EMR8-5	Tsukahara T	整形外科
J Orthop Sci 11 2006,446-449	Underutilization of antiosteoporotic drugs by orthopedic surgeons for prevention of a secondary osteoporotic fracture	Iba K	整形外科
J Orthop Sci 11 2006,259-263	Scoliosis in Cat Cry Syndrome	Takebayashi T	整形外科
Spine 31 2006,664-666	Piriformis syndrome resulting from a rare anatomic variation	Kosukegawa I	整形外科
J Hand Surg 31-A 2006,1157-1159	Pisotriquetral arthrosis after triquetral malunion: A case report	Aoki M	整形外科

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
Exp Neurol 2006. 5. 199	Intravenous infusion of immortalized human mesenchymal stem cells protects against injury in a cerebral ischemia model in adult rat.	Honma T	脳神経外科
血管医学 2006. 5. 7	虚血性脳血管障害の血行再建術の現状と展望.	宝金清博	脳神経外科
医学のあゆみ 2006. 6. 別冊	細胞移植と脳卒中.	宝金清博	脳神経外科
脊椎脊髄ジャーナル 2006. 6. 19	外傷性頸椎・頸髄損傷-治療方針決定に必要な情報とその提供-.	小柳 泉	脳神経外科
脳血行再建の理論と実際 2006. 5. 中外医学社	Chapter1 脳虚血の病態生理-1.脳虚血を理解するために.	宝金清博	脳神経外科
脳血行再建の理論と実際 2006. 5. 中外医学社	Chapter3 急性期血行再建.	宝金清博	脳神経外科
脳血行再建の理論と実際 2006. 5. 中外医学社	Chapter5 血管内外科治療による血行再建.	野中 雅	脳神経外科
脳血行再建の理論と実際 2006. 5. 中外医学社	Chapter7 脳血行再建術の実際と合併症.	宝金清博	脳神経外科
日本医事新報 2006. 6. No.4285	質疑応答 ヒトの脳梗塞巣周辺の神経再生.	本望 修	脳神経外科
Brain 2006. 8. 129	Neuroprotection by PIGF gene-modified human mesenchymal stem cells after cerebral ischaemia.	Liu H	脳神経外科
Interv Neuroradiol 2006. 11. 12(Suppl 1)	Risk factors of postprocedural hypotension following carotid artery stenting.	Nonaka T	脳神経外科
Surg Neurol 2007. 6. 67	Clinical manifestations and surgical results for paraclinoid cerebral aneurysms presenting with visual symptoms.	Nonaka T	脳神経外科
Brain Res 2006. 12. 1123	Neural differentiation potential of peripheral blood-and bone-marrow-derived precursor cells.	Kim S	脳神経外科
J Neurosci Res 2006. 11. 84	Intravenous administration of glial cell line-derived neurotrophic factor gene-modified human mesenchymal stem cells protects against injury in a cerebral ischemia model in the adult rat	Horita T	脳神経外科
Neurol Med Chir 2006. 5. 46	Optimization of three-dimensional time-of-flight magnetic resonance angiography of the intracranial arteries.	Harada K	脳神経外科
医学のあゆみ 2006. 11. 219	血管新生と創傷治療 脳血管障害の外科治療.	野中 雅	脳神経外科
脳神経外科 専門医に きく最新の臨床 2006. 5. 中外医学社	high flow bypass に際してartery graft と vein graft はどのように使い分けるのか?	宝金清博	脳神経外科
脳神経外科 専門医に きく最新の臨床 2006. 5. 中外医学社	小児脊椎・脊髄損傷の特徴は何か? 治療法で成人と違うところはるか?	小柳 泉	脳神経外科
日本内分泌学会雑誌 2006. 6. 82	鼻内視鏡手術における未固定凍結遺体を用いたトレーニングシステム.	南田善弘	脳神経外科

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
作療ジャーナル 2006. 6. 40	再生医療の最前線 脊髄の再生.	本望 修	脳神経外科
Clin Neurosci 2006. 4. 24	神経画像診断の新しい展開CTとMRIの最近の撮像法とその意義. MR	南田善弘	脳神経外科
脳外誌 2006. 4. 15	虚血性脳血管障害 エビデンスに基づいた外科治療の標準化 STA-MCA anastomosis.	宝金清博	脳神経外科
脳外誌 2006. 4. 15	ガイドラインに基づいた神経外傷の診断と治療 脊椎脊髄外傷ガイドラインから.	小柳 泉	脳神経外科
Brain Res 2007. 2. 1134	Magnetic resonance lactate and lipid signals in rat brain after middle cerebral artery occlusion model.	Harada K	脳神経外科
糖尿病 2006. 12. 49	特集 糖尿病患者における移植・再生医療の現状と展望 4. 血管病変への再生医療 2)脳血管障害に対する再生医療.	本望 修	脳神経外科
Neurosurgery 2007. 2. 60	Novel bipolar forceps with protein repellence using gold-polytetrafluoroethylene composite film.	Mikami T	脳神経外科
Neurosurgery 2007. 2. 60	Free flap transfer for the treatment of intractable postcraniotomy subdural empyemas and epidural abscesses.	Mikami T	脳神経外科
J Neurotrauma 2007. 3. 24	Mesenchymal stem cells derived from peripheral blood protects against ischemia.	Ukai R	脳神経外科
Life Sci. 2007 Aug 16;81(10):850-4.	Polycystic ovary syndrome is associated with genetic polymorphism in the insulin signaling gene IRS-1 but not ENPP1 in a Japanese population.	馬場剛、遠藤俊明、斉藤豪、	産科周産 期科
Int J Med Sci. 2006 Dec 29;4(1):36-44.	Proteomic analysis of mechanisms of hypoxia-induced apoptosis in trophoblastic cells.	石岡伸一、江坂嘉昭、遠藤俊明、斉藤豪	産科周産 期科、婦 人科
Tumor Res, 2007,41:71-6.	Accuracy of magnetic resonance imaging for the evaluation of myometrial invasion in endometrial carcinoma.	藤本尚、鈴木孝浩、伊東英樹、斉藤豪	婦人科
Intl Hematol 2007, vol85	Treatment of McLeod phenotype chronic granulomatous disease with reduced-intensity conditioning and unrelated-donor umbilical cord blood transplantation.	Suzuki N, et al	小児科
Catheterization and Cardiovascular Interventions 2006, vol68	Development of reexpandable covered stent for children.	Horita N, et al	小児科
J Med Virol 2007, vol79	Quantification of adenovirus species B and C viremia by real-time PCR in adults and children undergoing stem cell transplantation.	Takayama R, et al	小児科
Exp Hematol 2006, vol34	Induction of autologous CD4+ and CD8-mediated T-cell responses against acute lymphocytic leukemia cell line using apoptotic tumor cell-loaded dendritic cells.	Hatakeyama N, et al	小児科
Pediatr Infec Dis 2006, vol25	Detection of BK virus and adenovirus in the urine from children after allogeneic stem cell transplantation.	Hatekeyama N, et al	小児科
J Pediatr Hematol Oncol 2006, vol28	Treatment of stage IV malignant rhabdoid tumor of the kidney (MRTK) with ICE and VDCy.	Yamamoto M, et al	小児科
Invest Ophthalmol Vis Sci 2006;47:823-830	Effects of anti-glaucoma drops on matrix metalloproteinase (MMP) and tissue inhibitor metalloproteinase (TIMP) balance in conjunctival and subconjunctival tissue	大黒 浩他	眼科

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
Invest Ophthalmol Vis Sci 2006; 47: 5204-5211	Prolonged rhodopsin phosphorylation in light-induced retinal degeneration in rat models	大黒 浩他	眼科
J Dermatol Science 2006; 43	The real time, three-dimensional analyses of benign and malignant skin tumors by confocal microscopy	Ono I, Sakemoto A, Ogino J, Kamiya T, Yamashita T, Jimbow K.	皮膚科
J Plast Reconstr Surg Hand Surg 2006; 40	Reconstruction method with a newly-designed biolobed flap after excision of tumors of the skin	Ono I, Yamashita T, Takada T, Tominaga A, Hiroasaki K, Jimbow K	皮膚科
Biochimica Biophysica Acta 2007, 1771	Diacylglycerol kinase $\gamma$ suppresses tumor necrosis factor $\alpha$ -induced apoptosis of human melanoma cells through NF $\kappa$ B activation	Yanagisawa K, Yasuda S, Kai M, Imai S, Yamada K, Yamashita T, Jimbow K, Kaneko R, Ishida O.	皮膚科
西日本皮膚科 2007	帯状疱疹患者の末梢血リンパ球における水痘帯状疱疹ウイルス核酸の検出	山下利春, 黄倉真恵, 菊地梨沙, 佐藤牧人, 高田知明, 小野一郎, 神保孝一	皮膚科
Brit J Dermatol 2006; 155	Small cell variant of CD30+ primary cutaneous T-cell lymphoma with epidermotropism that completely regressed after incisional skin biopsy	Kamiya T, Saga K, Yanagisawa K, Kaneko R, Yamashita T, Ishida O,	皮膚科
Plastic Recon Surgery 2006; 117	Lower lip and vermilion reconstruction with buccal musculomucosal flap combined with V-Y plasty after malignant tumor excision	Ono I, Yamashita T, Kamiya T, Takada T, Kaneko R, Jimbow K	皮膚科
Neurosurgery 2007, 60(2 suppl 1):83-8.	Free flap transfer for the treatment of intractable postcraniotomy subdural empyemas and epidural abscesses.	Mikami T, Minamida Y, Sugino T, Koyanagi I, Yotsuyanagi T, Houkin K.	形成外科
PEPARS 2007,14: pp51-56.	【特集／縫合の基本手段】頸部, 胸部の縫合	江副京理、四ッ柳高敏	形成外科
形成外科 2006, 49増刊号: pp184-188	損傷部位・形態から見た処置法. 特殊型損傷. 熱圧挫創(heat press injury)	齋藤 有、四ッ柳高敏	形成外科
IVR会誌 2006, 21(4): 385-389.	Vascular malformationに対する外科的アプローチ	四ッ柳高敏、江副京理、齋藤 有	形成外科
IVR会誌. 2006, 21(4): 408-412.	オルダミン(EO)を用いた血管腫/血管奇形の硬化療法.	共頭秀樹、堀 正和、宇佐美陽子、廣川直樹、小井戸一光、晴山雅人、四ッ柳高敏、山口 暁	形成外科
砂川医誌 2006, 23(1): 37-40.	腹壁に発生したChronic Expanding Hematomaの一例	須田徹也、小松磨史、四ッ柳高敏	形成外科
保健の科学 2006, 48(7): 545-549.	女子大学生の乳頭形態とそれに関する意識. —学校保健における指導のあり方を考える—	佐々木芙美、葛西敦子、四ッ柳高敏	形成外科
形成外科 2006, 49(7): 809-814.	腋窩毛巣洞の2例	漆館聡志、四ッ柳高敏、三上 誠、樋熊有子、渡辺庸介、新明康宏、横井克憲	形成外科
形成外科 2006, 49(4): 449-453.	表皮嚢腫より発生した疣状有棘細胞癌の1例	山下 健、四ッ柳高敏、三上 誠、樋熊有子、漆館聡志、横井克憲	形成外科
日形会誌 2006, 26(5): 297-313.	形成外科診療実態～アンケート調査の結果から～	天野健二、小林誠一郎、朝戸裕貴、石倉直敬、木股敬裕、清川兼輔、浜中孝臣、四ッ柳高敏	形成外科
Clinical Cancer Research 2006, 12 (5), 4641-4644	Effect of human leukocyte antigen class I expression of tumor cells on outcome of intravesical instillation of bacillus Calmette-Guerin immunotherapy for bladder cancer	Kitamura H, et al	泌尿器科
Urology 2006; 67(5), 955-959	Expression and antigenicity of survivin, an inhibitor of apoptosis family member, in bladder cancer: implications for specific immunotherapy	Kitamura H, et al	泌尿器科

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
Exp Cell Res. 2006 Nov 15;312(19):3847-56	Connexin 26 expression prevents down-regulation of barrier and fence functions of tight junctions by Na <sup>+</sup> /K <sup>+</sup> -ATPase inhibitor ouabain in human airway epithelial cell line Calu-3	Go M	耳鼻咽喉科
Acta Otolaryngol. 2006 Sep;126(9):948-51	Distribution of specific binding sites for cysteinyl leukotriene 1 receptor antagonist in human nasal mucosa	Shirasaki H	耳鼻咽喉科
J Infect Chemother 2006 Dec;12(6):366-71	Alterations of pbp1a, pbp2b, and pbp2x in Streptococcus pneumoniae isolates from children with otolaryngological infectious disease in the Sapporo district of Japan	Harimaya A	耳鼻咽喉科
J Laryngol Otol 2007 Mar;121(3):281-4	Ossifying fibroma of the mandible with primary hyperparathyroidism due to non-familial parathyroid adenoma	Harimaya A	耳鼻咽喉科
FEMS Immunol Med Microbiol. 2007 Feb;49(1):41-5	Evidence of local antibody response against Alloicoccus otitidis in the middle ear cavity of children with otitis media	Harimaya A	耳鼻咽喉科
J Laryngol Otol. 2006 Dec;120(12):1077-	Cystadenocarcinoma (papillary cystadenocarcinoma) of the submandibular gland	Harimaya A	耳鼻咽喉科
Int J Pediatr Otorhinol 2006 Jun;70(6):1009-14	High frequency of Alloicoccus otitidis in the nasopharynx and in the middle ear cavity of otitis-prone children	Harimaya A	耳鼻咽喉科
J Neural Transm 平成18年・113巻	Implication of increased NRSF/REST binding activity in the mechanism of ethanol inhibition of neural differentiation	Tateno M, Ukai W, Hashimoto E, Saito T	神経精神科
アルコールと医学生物学 平成18年9月30日・26巻	アルコールによる脳神経回路網修復・維持機構の変化	石井真男, 橋岡渉, 弓井智之, 黒澤茂樹, 吉永敏弘, 館農勝, 小野貴文, 齋藤諭, 橋本重理, 池田官司, 齋藤利	神経精神科
日本森田療法学会雑誌 平成18年10月・17巻2号	慢性疼痛に対する森田療法的アプローチ(その3)慢性疼痛とPTSDの関連および森田療法による治療の可能性について	芦沢健, 池田望, 本間真理, 池田官司, 橋本恵理, 齋藤利和	神経精神科
Radiation and Oncology 2006.5 Vol.79	Analyses of dose-response in radiotherapy for patients with mature T/NK-cell lymphomas according to the WHO classification	Sakata K.	放射線科
Strahlentherapie und Onkologie 2006.9 Vol.182	A clinical study of hypoxia using endogenous hypoxic markers and polarographic oxygen electrodes	Sakata K.	放射線科
Radiation Research 2006.10 Vol.166	Association of ionizing radiation-induced foci of NBS1 with chromosomal instability and breast cancer susceptibility	Someya M	放射線科
臨床画像 2006.12 Vol.22	脾疾患の超音波診断 最新の進歩	小井戸一光	放射線科
札幌医学雑誌 2006.12 Vol.75	2本鎖DNA切断修復研究と臨床応用	坂田耕一	放射線科
消化器画像 2007.1 Vol.9	膵臓房細胞癌の診断と治療	小井戸一光	放射線科
Int.J.of Oncology 2007.2 Vol.30	cDNA analysis of gene expression associated with DNA-dependent protein kinase activity	Sakata K.	放射線科
Jan J Prim Care 2006. 29: 168-175.	A qualitative evaluation of medical students' perceptions of their rural medicine clerkship experience.	Yasushi Miyata	総合診療科
Jan J Prim Care 2006. : 29: 295-301.	The 6 Cs Approach for Narrative Based Primary Care. A Case Report.	Yasushi Miyata	総合診療科

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
General Medicine. 2006; 7 :39-44.	A qualitative study of first-year medical students: Why do students want to become physicians? What kind of physicians do they want to become?	Yasushi Miyata	総合診療科
The Japanese Journal of Family Practice. 2006; 1: 16-23.	How does students' motivation for their future images as physician change during their undergraduate medical education.	Yasushi Miyata	総合診療科
Int J Oral Maxillofac Surg 2006 Apr. 35(4):356-361	Aberrant expression of b- and g-catenin are independent prognostic markers in oral squamous cell carcinoma	Hiratsuka H	歯科口腔外科
頭頸部癌 2006, 34(4):429-433	舌癌の郭清範囲に関する検討	仲盛健治	歯科口腔外科
Int J Oral Maxillofac Surg 2007 Jan. 36(1):15-19	Predictive assay of neoadjuvant chemotherapy in management of oral cancer	Hiratsuka H	歯科口腔外科
Exp Cell Res in press.	Inhibition of estrogen receptor $\beta$ -mediated human telomerase reverse transcriptase gene transcription via the suppression of mitogen-activated protein kinase signaling plays an important role in 15-deoxy- $\Delta$ 12,14-prostaglandin J2-	Watanabe N	検査部
Shock 2007, 28: 94-100.	Protective mechanism of b-SQAG9 liposome, a sulfonoglycolipid extracted from sea urchin intestines, against hepatic ischemia reperfusion injury.	Watanabe N	検査部
J Biol Chem 2007, 282: 19273-19281	Survivin down-regulation plays a crucial role in 3-hydroxy-3-methylglutaryl coenzyme A reductase inhibitor-induced apoptosis in cancer.	Watanabe N	検査部
Lung Cancer 2007, 56: 337-340.	Diagnostic relevance of overexpressed mRNA of novel oncogene with kinase-domain (NOK) in lung cancers.	Watanabe N	検査部
Breast Cancer Res Treat 2007, 102: 263-273.	15-Deoxy-Delta(12,14)-prostaglandin J(2) inhibits G(2)-M phase progression in human breast cancer cells via the down-regulation of cyclin B1 and survivin expression.	Watanabe N	検査部
Cancer Sci 2007, 98: 334-340.	Olfactomedin 4 promotes S-phase transition in proliferation of pancreatic cancer cells	Watanabe N	検査部
Cancer Sci 2007, 98: 315-320.	Specific overexpression of OLFM4GW112/hGC-1 mRNA in colon, breast, and lung cancer tissues detected using quantitative analysis.	Watanabe N	検査部
Anticancer Res 2006, 26: 4969-4974.	Diagnostic relevance of overexpressed NOK mRNA in breast cancer.	Watanabe N	検査部
Pancreas 2006, 33: 85-86.	A case of autoimmune pancreatitis with various LDH isoenzyme patterns.	Watanabe N	検査部
World J Gastroenterol 2006, 12:5793-5797.	Human $\beta$ -defensin-3 induction in H. pylori-infected gastric mucosal tissues.	Watanabe N	検査部
Transfusion 2006, 46: 1521-1525.	Opimal prewarming conditions for Rh antibody testing.	Watanabe N	検査部
Clin Cancer Res 2006, 12: 3803-3813.	CEA-targeted selective gene therapy of gastric cancer through FZ33 fiber modified adenovirus vectors.	Watanabe N	検査部
Echocardiography 2006; 23(10): 846-852	Assessment of left ventricular ejection fraction using long-axis systolic function is independent of image quality: A study of tissue Doppler imaging and M-mode echocardiography.	Yuda S, Inaba Y, et al.	機器診断部
Cir J 2006; 70(11): 1451-1456	Persistent insulin-sensitizing effects of Sarpogrelate hydrochloride, a Serotonin 2A receptor antagonist, in patients with peripheral arterial disease.	Kokubu N, Tsuchihashi K, et al.	機器診断部

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
Hypertens Res 2007; 30(1): 13-21	Noninvasive assessment of left atrial function by strain rate imaging in patients with hypertension: A possible beneficial effect of renin-angiotensin system inhibition on left atrial function.	Kokubu N, Yuda S, et al.	機器診断部
Gut. 2006; 55(12): 1801-8	Hepatitis C virus core protein promotes proliferation of human hepatoma cells through enhancement of transforming growth factor alpha expression via activation of nuclear factor-kappa B.	Sato Y, Kato J, et al.	機器診断部
Intern Med. 2006; 45(7): 475-8	Human herpesvirus-6 hepatitis associated with cyclosporine-A encephalitis after bone marrow transplantation for chronic myeloid leukemia.	Kuribayashi K, Matsunaga T, et al.	機器診断部
日本消化器病学会雑誌 2007;104(3): 394-400	石灰乳胆汁をともなった胆嚢管癌の1例	高橋祥, 本間久登, 他	機器診断部
アルコールと医学生物 学2006; 26: 91-95	アルコール性および非アルコール性脂肪性肝炎における鉄代謝異常の解析および酸化的DNA障害の検討	高田弘一, 加藤淳二, 他	機器診断部
肝臓2006; 47(6): 304-30	ウルソデオキシコール酸投与中に自己免疫性肝炎が増悪したPBC-AIH overlap症候群の1例	高田弘一, 加藤淳二, 他	機器診断部
肝臓2006; 47(5): 245-25	シクロスポリンの長期投与が奏効し、肝線維化の著明改善が得られた自己免疫性肝炎の1例	高梨訓博, 高田弘一, 他	機器診断部
日本画像医学雑誌 2006; 24(3~4): 152- 158	典型的な超音波像を呈した上眼瞼部石灰化上皮腫(毛母腫)の1例	高橋究, 三谷正信, 他	機器診断部
J Clin Pathol 2006 Apr: 59	Intrapatellar tendon lipoma with chondro-osseous differentiation: detection of HMGA2-LPP fusion gene transcript.	Tadashi Hasegawa	病理部
Hum Pathol 2006 Apr: 37	Cyclooxygenase-2 overexpression associated with a poor prognosis in chondrosarcomas.	Tadashi Hasegawa	病理部
Ann Nucl Med 2006 Apr: 20	Diaphyseal medullary stenosis with pleomorphic malignant fibrous histiocytoma of the bone: 99mTc hydroxymethylenediphosphonate and 201Tl chloride scintigraphy findings.	Tadashi Hasegawa	病理部
Eur J Nucl Med Mol Imaging 2006 Jun: 33	Glut-1 Expression and enhanced glucose metabolism are associated with tumor grade in bone and soft tissue sarcomas: a prospective evaluation by [F-18]-fluorodeoxyglucose positron emission tomography.	Tadashi Hasegawa	病理部
Mod Pathol 2006 Jun: 19	Prognostic significance of dysadherin expression in epithelioid sarcoma and its diagnostic utility in distinguishing epithelioid sarcoma from malignant rhabdoid tumor.	Tadashi Hasegawa	病理部
Eur Radiol 2006 Jul: 16	CT and MRI findings in KIT-weak or KIT-negative atypical gastrointestinal stromal tumors.	Tadashi Hasegawa	病理部
Skeletal Radiol 2006 Aug: 35	Sclerosing perineurioma: tumor of the hand with a short T2.	Tadashi Hasegawa	病理部
Ann Nucl Med 2006 Jun: 20	A case of ganglioneuroma presenting abnormal FDG uptake.	Tadashi Hasegawa	病理部
Eur J Nucl Med Mol Imaging 2006 Aug: 33	Disease activity and 18F-FDG uptake of organizing pneumonia: semi-quantitative evaluation using computed tomography and positron emission tomography.	Tadashi Hasegawa	病理部
Biochem Biophys Res Commun 2006 Sep: 348	A novel type of EWS-CHOP fusion gene in myxoid liposarcoma.	Tadashi Hasegawa	病理部
Proteomics 2006 Aug: 6	Proteomics signatures corresponding to histological classification and grading of soft-tissue sarcomas.	Tadashi Hasegawa	病理部

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
BMC Bioinformatics 2006 Sep: 7	Cancer diagnosis marker extraction for soft tissue sarcomas based on gene expression profiling data by using projective adaptive resonance theory (PART) filtering method.	Tadashi Hasegawa	病理部
Hum Pathol 2006 Sep: 37	The value of MDM2 and CDK4 amplification levels using real-time polymerase chain reaction for the differential diagnosis of liposarcomas and their histologic mimickers.	Tadashi Hasegawa	病理部
Mod Rheumatol 2006 May: 16	Large benign rheumatoid nodules of the trunk in an elderly patient: radiologic appearance mimicking a soft-tissue sarcoma.	Tadashi Hasegawa	病理部
Am J Roentgenol 2006 Oct: 187	MRI of primary prostatic Wilms' tumor in a young adult.	Tadashi Hasegawa	病理部
Clin Nucl Med 2006 Oct: 31	F-18 fluorodeoxyglucose positron emission tomography findings of Mazabraud syndrome.	Tadashi Hasegawa	病理部
Radiat Med 2006 Aug: 24	CT and MRI features of low-grade fibromyxoid sarcoma in the shoulder of a pediatric patient.	Tadashi Hasegawa	病理部
Pathol Res Pract 2006 Aug: 202	Correlation of p53 and MIB-1 expression with both the systemic recurrence and survival in cases of phyllodes tumors of the breast.	Tadashi Hasegawa	病理部
J Clin Pathol 2006 Nov: 59	Dedifferentiated chondrosarcoma having telangiectatic osteosarcoma-like features.	Tadashi Hasegawa	病理部
Hum Pathol 2006 Dec: 37	Multiple organ involvement in eosinophilic polymyositis: an autopsy report.	Tomoko Mitsuhashi	病理部
Am J Surg Pathol 2006 May: 30	Post-gastric endoscopic mucosal resection surveillance biopsies: evaluation of mucosal changes and recognition of potential mimics of residual adenocarcinoma.	Tomoko Mitsuhashi	病理部
Am J Surg Pathol 2007 Jan: 31	Dysadherin expression as a significant prognostic factor and as a determinant of histological features in synovial sarcoma: special reference to its inverse relationship with E-cadherin expression	Tadashi Hasegawa	病理部
Ann Surg Oncol 2007 Feb: 14	Clinical relevance of pathological grades of malignant peripheral nerve sheath tumor: a multi-institution of TMTS study of 56 cases in Northern Japan.	Tadashi Hasegawa	病理部
Pathol Int 2007 Mar: 57	Histological grading and MIB-1 labeling index of soft-tissue sarcomas.	Tadashi Hasegawa	病理部
Scand J Urol Nephrol 2007 Jan: 41	Primitive neuroectodermal tumor of the kidney confirmed by fluorescence in situ hybridization.	Tadashi Hasegawa	病理部
Ann Diagn Pathol 2007 Feb: 11	KIT-negative undifferentiated endometrial sarcoma with the amplified epidermal growth factor receptor gene showing a temporary response to imatinib mesylate.	Tomoko Mitsuhashi	病理部
Restorative Neurology and Neuroscience. 24:261-271, 2006	What do eye-fixation patterns tell us about unilateral spatial neglect?	Ishiai S	リハビリ テーション 部
Cortex 42:685-69,2006	Approaches to subjective midpoint of horizontal lines in unilateral spatial neglect	Sumio Ishiai, Yasumasa Koyama, Keiko Seki, Kazuko Hayashi	リハビリ テーション 部
理学療法学 34(4):103-109, 2007.06	半側空間無視-基盤となる障害と表現を修飾する問題点-	石合純夫	リハビリ テーション 部
Journal of Hand Therapy 20(1):12-18, January-March 2007	The Accuracy of Goniometric Measurements of Proximal Interphalangeal Joints in Fresh Cadavers: Comparison between Methods of Measurement, Types of Goniometers, and fingers.	Masami kato, Ayumu Eshigo, Hisakaaki Ohta, sumio Ishiai	リハビリ テーション 部



雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
日集中医誌 2006;131(3):201-203	偶発性低体温症と経皮的心肺補助(PCPS)の有用性	浅井康文	救急集中治療部
Tumor Research 2006;41:43-57	Disruption of the interaction between retinoblastoma protein and 70 kD heat shock protein leads to growth acceleration of tumor cells	Hatamoto K, et al	救急集中治療部
Vasc Health Risk Manag 2006;2(2):109-116	Endovascular stent-graft placement for vascular failure of the thoracic aorta	Kurimoto Y, et al	救急集中治療部
Circ J 2006;70:198-201	Initial Experiences in management of Blunt Aortic Injury Taking Associated Brain Injury into Consideration	Kurimoto Y, et al	救急集中治療部
J Trauma 2006;61:582-5	Blind Subxiphoid Pericardiotomy for Cardiac Tamponade due to Acute Hemopericardium	Kurimoto Y, et al	救急集中治療部
Circ J 2006;70:1128-32	Long-Term Outcome of Implanted Cardioverter Defibrillators in Survivors of Out-of-Hospital Cardiac Arrest of Cardiac Origin	Asai Y, et al	救急集中治療部
J Trauma 2007;4:898-901	The Value of Multidetector Row Computed Tomography in the Diagnosis of Traumatic Clivus Epidural Hematoma in Children: A Three-Year Experience	Asai Y, et al	救急集中治療部
Am J Emer Med 2007;25(4):481-487	Infantile case of seizure induced by intoxication after accidental consumption of eperisone hydrochloride, an antispastic agent	Tanno K, et al	救急集中治療部
Surg Today 2007;37(3):240-2	Out-of-hospital Cardiopulmonary Arrest due to Penetrating Cardiac Injury Treated by Percutaneous Cardiopulmonary Support in the Emergency Room	Kurimoto Y, et al	救急集中治療部
Ann Vasc Surg 2007;21(4):515-8	Immediate Endovascular Stent-grafting for Leg Ischemia secondary to Acute Aortic Dissection	Kurimoto Y, et al	救急集中治療部

(様式第12)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	札幌医科大学附属病院長 島本 和明	
管理担当者氏名	病院課長 五十嵐 喜一郎 / 患者サービスセンター長 笠原 清孝 / 薬剤部 宮本 篤 / 医療安全推進室長 宝金 清博 / 感染管理室長 渡邊 直樹	
	保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約	各診療科、カルテ庫 各記録関係部科	病歴資料については、各診療科毎に作成し、カルテ庫で管理（一診療科一カルテ） 処方箋については、薬剤部にて保管管理 エックス線写真については、各診療科とカルテ庫において保管管理
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	病院課
	高度の医療の提供の実績	各診療科
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科
	高度の医療の研修の実績	病院課
	閲覧実績	
	紹介患者に対する医療提供の実績	病院課
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院課及び薬剤部
	規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制確保の状況	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況
専任の院内感染対策を行う者の配置状況		感染管理室
医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		医療安全推進室
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		患者サービスセンター
医療に係る安全管理のための指針の整備状況		医療安全推進室
医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		医療安全推進室
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		医療安全推進室
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医療安全推進室

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	北海道公立大学法人札幌医科大学理事長 今井 浩三
閲覧担当者氏名	北海道公立大学法人札幌医科大学事務局病院課長 五十嵐 喜一郎
閲覧の求めに応じる場所	北海道公立大学法人札幌医科大学事務局総務課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0人
閲覧者別	医師	延 0人
	歯科医師	延 0人
	国	延 0人
	地方公共団体	延 0人

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	63.2%	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算定根拠	A: 紹介患者の数	10,007人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	5,322人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	583人	
	D: 初診の患者の数	19,866人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延べ数を記入すること。

## 規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 ( 2 名 )
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 2 名 )
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有
・所属職員： 専任 ( 2 ) 名 兼任 ( 1 ) 名 ・活動の主な内容 ○附属病院における安全対策の総合企画・総合調整 ○事故発生報告書及びインシデントレポートに基づく事故原因の分析及び再発防止策の検討業務 ○再発防止策等について診療科・看護室のリスクマネージャーを通じて現場への指導 ○再発防止策のマニュアル化及びその周知徹底 ○安全管理に関する最新情報をリスクマネジメントニュースの発行を通じて全職員へ周知徹底	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
・指針の主な内容： ○「札幌医科大学附属病院における安全管理指針」 医療の安全管理に関する基本方針を定めるとともに院内の責任体制を明確にし、医療安全管理の具体的な推進方策について9項目を規定している。 1 総則、 2 医療安全管理のための組織体制、 3 医療の安全確保を目的とした改善のための方策、 4 安全管理のための職員研修の実施、 5 医療事故発生時の対応方法、 6 患者相談窓口の設置、 7 安全な医療を提供するためのマニュアル・ガイドライン、 8 本指針の閲覧、 9 附則	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 (平成17年度)	年 46 回
・活動の主な内容： ○医療事故防止対策委員会 (定例) 12回 医療事故の原因分析・再発防止策等の検討を実施 ○安全対策委員会 (定例) 12回 インシデントの原因分析・再発防止策の検討、マニュアル等の検討 ※ 各検討結果を現場へフィードバックし、周知徹底を図っている。 ○医療リテラシー審議委員会 (随時) 14回 傷害レベル3b以上の緊急または既事案について調査、検討し、事故か否か判断 ○リスクマネージャー連絡会議 (3~4回/年) 3回 安全対策等の周知徹底 ○医療問題調査委員会 (随時) 5回 医療紛争に関する事項の検討	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 (平成17年度)	年 26 回
・研修の主な内容： ○全職員を対象とした安全対策研修 年12回 ○全医療職を対象としたBLS・AED講習会 年 4回 ○その他医師・看護師・看護助手を対象とした研修会 年10回	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・医療機関内における事故報告等の整備 ( 有 ) ○「医療事故発生・発見時の対応について」(平成14年11月1日病院長決定)により事故等の区分を6段階にレベル分けし、院内報告の仕方や取扱いを明らかにするとともに、再発防止策の検討方法を規定している。 ・その他の改善のための方策の主な内容： ○院内相互チェックの実施 平成15年度から、安全管理体制を確立することを目的に事故防止対策委員会のメンバーが院内総点検の実施。 平成17年度は各科のリスクマネージャーが主体となって、他部署を点検項目に沿って相互に点検を実施。	